

報道関係者各位

2025年5月8日(木)

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025
【アニメーション部門】

翌年の米国アカデミー賞に推薦される作品は！？

世界 52 の国と地域から応募のあった 417 作品の中から 25 作品がノミネート

本年度アニメーション部門の公式審査員を発表！

**タレント・俳優の小田井涼平さん、
俳優・モデル・映画監督の岡本多緒さん、
杉山知之の 3 名に決定！**

SHORTSHORTS
FILM FESTIVAL & ASIA 2025

つくってる?みらい
digital
hollywood

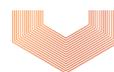


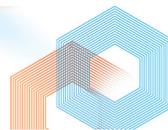
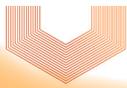
Photo by Naohiro Sato

IT 関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクール・大学・大学院を運営するデジタルハリウッド株式会社(本校/本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:吉村毅、学長:杉山知之)では、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(略称:SSFF & ASIA)」に協賛し、「アニメーション部門」を展開しています。

優秀賞が翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補となる「アニメーション部門」の作品審査をおこなう公式審査員に、小田井涼平さん(タレント、俳優)、岡本多緒さん(俳優、モデル、映画監督)、杉山知之(デジタルハリウッド大学 学長・工学博士)の 3 名が決定しました。

俳優や映画監督などのご経験を活かし、多角的な視点で作品審査をおこなっていただきます。





デジタルハリウッドは2011年より、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(略称:SSFF & ASIA)」と共にCGアニメーション部門を展開してきました。

2021年にアカデミー賞アニメーション部門への推薦枠を獲得し、2022年より部門の名称も「アニメーション部門」とし、CG、ストップモーション、手描きなどあらゆるジャンルのアニメーションを対象とする部門へ拡大しました。

2023年にはアニメーション部門の優秀賞作品「希望のかけ橋」(吉田和泉監督)が、見事ジョージ・ルーカスアワード(グランプリ)を獲得しました。

<https://shortshorts.org/2023/program/anime/anime-1/the-bridge/>

今年は世界各国52の国と地域から応募された417作品より25作品が選出されました。

アニメーション部門の優秀賞は6月11日におこなわれるアワードセレモニーにて発表され、賞金60万円が授与されます。

アニメーション部門 審査員

小田井涼平さん(タレント/俳優)

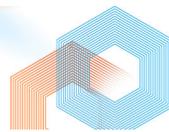
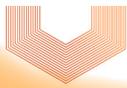
1971年2月23日生まれ、兵庫県川西市出身。神戸学院大学法学部卒業。家電メーカーの営業職中、転勤先の仙台で友人をつくるためモデル活動を開始。その後東京へ移り、芸能活動に専念。2002年「仮面ライダー龍騎」にて仮面ライダーゾルダ・北岡秀一役で俳優デビュー。2007年から2022年までムード歌謡コーラスグループ「純烈」として活動し、NHK紅白歌合戦5年連続出場。2022年の第73回NHK紅白歌合戦を最後に「純烈」を卒業。現在は、タレント・俳優として、旅番組のロケで全国を飛び回り、地元の人たちと触れ合うレポーターを中心に、ミュージカルやドラマ、情報番組のコメンテーターなど幅広く活躍している。小田井涼平オフィシャルファンクラブ <https://odairyoehei.fanpla.jp/>



岡本多緒さん(俳優/モデル/映画監督)

14歳で日本でモデルデビュー。パリ・ミラノ・ロンドン・ニューヨークを拠点にトップモデル「TAO」として世界で活躍。2013年に映画『ウルヴァリン:SAMURAI』でヒロインに抜擢され、映画デビューを果たす。以降、NBC「ハンニバル」シーズン3(2015)、HBO「ウエストワールド」シーズン2&3(2018~2020)などハリウッド作品を中心に活躍。2023年に拠点を日本に移すとともに、企画・監督・脚本を手がけた短編映画『サン・アンド・ムーン』が東京国際映画祭ほか、国内外の映画祭で選出。現在3作目となる『My Sweet Pala』を製作中。さらに、2026年には濱口竜介監督最新作・主演映画『急に具合が悪くなる』が公開を控えている。





杉山 知之（デジタルハリウッド大学 学長・工学博士）

1954年東京都生まれ。日本大学大学院理工学研究科修了後、同大学助手となり、コンピューターシミュレーションによる建築音響設計を手がける。87年渡米、MITメディア・ラボ客員研究員、国際メディア研究財団・主任研究員、日本大学短期大学専任講師を経て、94年デジタルハリウッドを設立。2004年大学院、2005年大学を設立し、現在デジタルハリウッド大学・学長。著書は「クール・ジャパン 世界が買いたがる日本」（祥伝社）、『デジタル・ストリーム ―未来のリ・デザインング』新装版（電子書籍／デジタルハリウッド・パブリッシャーズ）ほか。

（写真：Naohiro Sato）



「アニメーション部門」上映作品の紹介

<https://www.shortshorts.org/2025/all-program/>

国内外のコンテンツ業界に多数のクリエイターを輩出しているデジタルハリウッドと SSFF & ASIA とのコラボレーションによる「アニメーション部門」。

2011年にスタートしたCGアニメーションプログラムがCG、ストップモーション、手描きなどあらゆるジャンルのアニメーションプログラムへ進化しました。

世界各国 52 の国と地域から応募された 417 作品より選出された 25 作品をラインナップ。

アニメーション部門の作品は 5 月 28 日より東京会場での上映、および 6 月 30 日迄の間、オンライン会場で配信いたします。

【アニメーション部門 特別上映プログラム】

イギリスの名優イアン・マッケランが声の主演

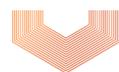


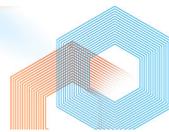
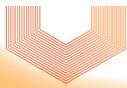
『Dragfox』

監督：Lisa Ott / イギリス / 8:10 / アニメーション / 2024

サムが自分のアイデンティティを探していると、謎めいた近所のキツネが突然現れる。2人は屋根裏部屋へと向かう不思議な旅に乗り出し、思いがけない共通点を発見する。互いの違いを受け入れる大切さを学んでいく。

デジタルハリウッド主催 デジタルフロンティア
グランプリ 2025 ベストアニメーション賞受賞





『Resonance』

監督:トーマスクルー / 日本 / 10:43 / アニメーション / 2025

ピクセルアートが織りなすショートフィルムは、音楽とテクノロジー、自己表現の交差点！インスピを探しのアストロは謎ロボットビに導かれ、リズムパズルと懐古ゲームの魅力へと旅立つ。

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2025 概要

今年のテーマは「creative active generative」

■映画祭代表:別所 哲也

■開催期間:

4月24日(木)～6月30日(月)オンライングランドシアター

※期間により配信プログラムが異なります。

5月28日(水)オープニングセレモニーTAKANAWA GATEWAY CITY

5月29日(木)～6月01日(日)TAKANAWA GATEWAY CITY

6月03日(火)、04日(水)赤坂インターシティコンファレンス

6月06日(金)～10日(火)WITH HARAJUKU

6月06日(金)～08日(日)LIFORK HARAJUKU

6月11日(水)アワードセレモニーLINE CUBE SHIBUYA

■チケット:

<オンライングランドシアター>

オンライングランドシアター鑑賞パスポート 2,500円(日本国内) /

15米ドル(日本国外)

<https://app.lifelogbox.com/shortshortsonlinegrandtheater>

<東京会場>

・プログラム券(前売り) 一般 1,500円、学生、シニア、障がい者割引 1,200円

未就学児(小学生未満) 無料

・プログラム券(当日券) 一般 1,800円、学生、シニア、障がい者割引 1,500円

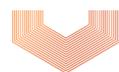
未就学児(小学生未満) 無料

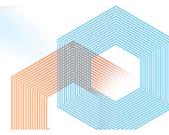
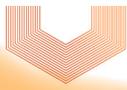
・パスポート[表参道ヒルズスペースオー、WITH HARAJUKU HALL 対象]

購入ページ URL <https://ssff2025passport.peatix.com>

一般 7,000円

学生、障がい者割引 5,500円





- 一般からのお問い合わせ先 : info@shortshorts.org
 - オフィシャルサイト: <https://www.shortshorts.org/2025>
 - 主催: ショートショート実行委員会 / ショートショート アジア実行委員会
- ※各イベントゲストは変更になる可能性があります。

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

<https://www.shortshorts.org>



米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優別所哲也が、米国で出会った「ショートフィルム」を、新しい映像ジャンルとして日本に紹介したいとの思いから 1999 年にアメリカン・ショート・ショートフィルムフェスティバル創立。2001 年には名称を「ショートショートフィルムフェスティバル(SSFF)」とし、2004 年に米国アカデミー賞公認映画祭に認定。また同年、アジア発の新しい映像文化の発信・新進若手映像作家の育成を目的とし、同年に「ショートショートフィルムフェスティバルアジア(SSFF ASIA 共催:東京都)」が誕生し、現在は「SSFF & ASIA」を総称として映画祭を開催。2018 年に映画祭が 20 周年を迎えたことを記念し、グランプリ作品はジョージ・ルーカス監督の名を冠した「ジョージ・ルーカスアワード」に。2019 年 1 月には、20 周年の記念イベントとして「ショートショートフィルムフェスティバル in ハリウッド」が行われ、また、2019 年の映画祭より、オフィシャルコンペティション(インターナショナル部門、アジアインターナショナル部門、ジャパン部門)およびノンフィクション部門の各優秀賞 4 作品が、2022 年からはアニメーション部門の優秀賞を含む 5 作品が、翌年のアカデミー賞短編部門へのノミネート候補とされる権利を獲得。SSFF & ASIA は映画祭を通じて引き続き、若きクリエイターを応援。

【デジタルハリウッド株式会社】

<https://www.dhw.co.jp/>

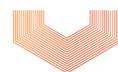


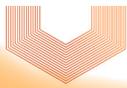
1994 年 10 月、会社設立と同時に日本初の実践的産学協同のクリエイター養成スクールを開校。現在、東京と大阪に専門スクール「デジタルハリウッド」と、全国の各都市に Web や動画などが学べるラーニングスタジオ「デジタルハリウッド STUDIO」、そして e ラーニングによる通信講座「デジハリ・オンラインスクール」を展開。

2004 年には日本初、株式会社によるビジネス×ICT×クリエイティブの高度人材育成機関「デジタルハリウッド大学院(専門職)」、翌 2005 年 4 月に四年制大学「デジタルハリウッド大学」を開学。設立以来、デジタルハリウッド全体で 10 万人以上の卒業生を輩出している。

また、デジタルハリウッド大学開学時より導入している、動画教材と対面授業を組み合わせた「ブレンディッド・ラーニング」のノウハウを活かして、大学・専門学校の教育機関をはじめ塾・障害者支援サービス企業・教育サービス企業向けに、オンライン授業の導入及び活用支援サービス「デジタルハリウッドアカデミー」を国内外に展開。

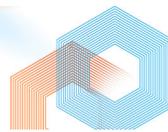
さらに 2015 年 4 月、スタートアップ志望者を対象としたエンジニア養成学校『ジーズアカデミー』を開校し現在東京と福岡に展開。同年 11 月には、日本初のドローンビジネスとロボットサービス産業の推進を目的と





Press Release

Digital Hollywood



つくってる?みらい
**digital
hollywood**
<https://www.dhw.co.jp/>

した『デジタルハリウッド ロボティクスアカデミー』を開校するなど、デジタルコンテンツ業界の人材育成と、産業インキュベーションに力を注ぐ。
2024年10月に設立30周年を迎えた。

【当プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail:press@dhw.co.jp

TEL: 03-5289-9241

デジタルハリウッド公式サイト: <https://www.dhw.co.jp/>

過去のプレスリリース: <https://www.dhw.co.jp/press-release/>

※本件につきまして、「ショートショート実行委員会」からも同内容のプレスリリースが配信されております。両社より重複して届く場合がございますのでご了承ください。

